

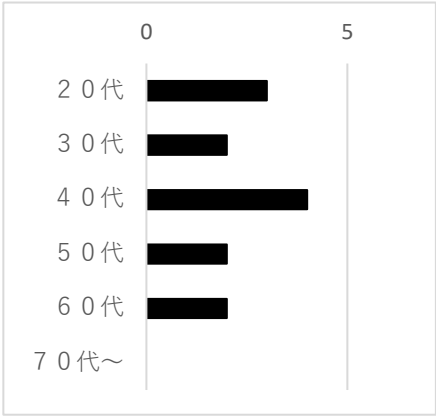
部活動の地域展開に関わる 卓球指導者向けアンケート

(令和8年7月30日実施)

調査概要	： 部活動の地域展開に向けて、卓連が中学生に対して取り組むべき方向性を調べる
調査対象	： 春日部卓連主催の「中学団体戦」で生徒引率された方
調査方法	： 大会会場でアンケート用紙にご記入いただき回収
有効回答数	： 13名

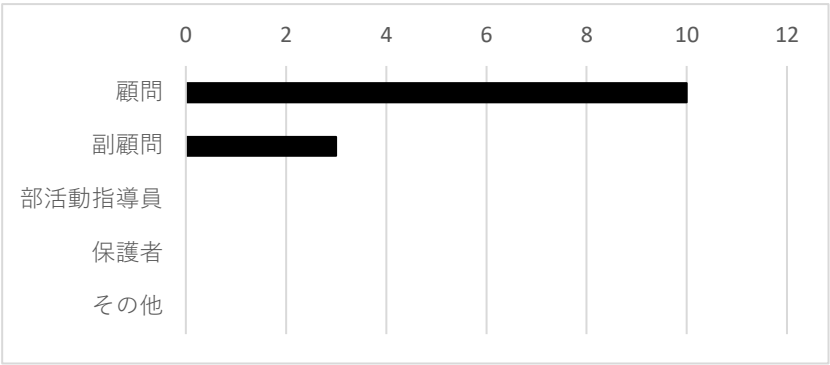
【Q 1. 年代をおしえてください】

20代	3名
30代	2名
40代	4名
50代	2名
60代	2名
70代～	0名



【Q 2. 引率上の立場をおしえてください】

顧問	10名
副顧問	3名
部活動指導員	0名
保護者	0名
その他	0名



【Q 3. 指導活動についておしえてください】

十分な競技経験があり、技術指導ができる	1名
競技経験があり、基本的な技術指導ができる	1名
競技経験はないが、基本的な技術指導はできる	5名
競技経験はなく、技術指導をすることができない	6名



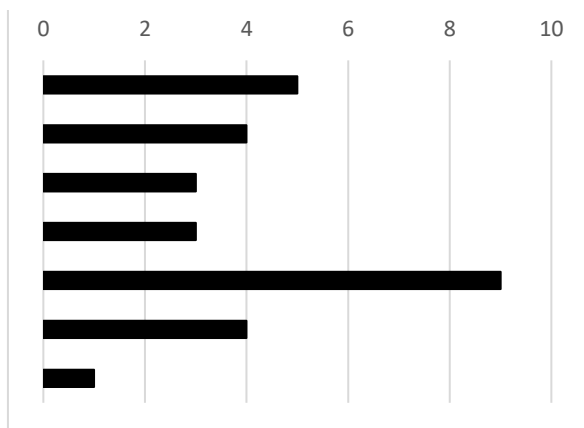
【Q 4. 地域クラブ活動との関わりについて】

兼職兼業の手続きをして指導者として関わりたい	1名
ボランティアで指導者として関わりたい	0名
関わりたくない	7名
どちらともいえない	5名



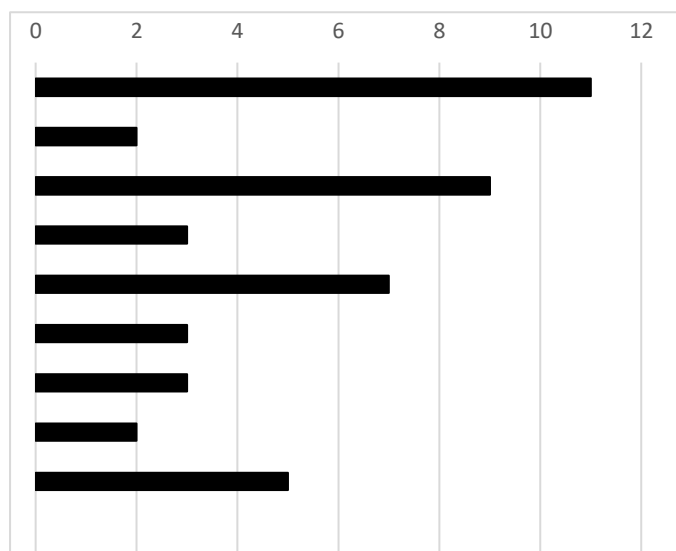
【Q 5. 地域展開による生徒のメリット（複数回答）】

地域クラブでの 他校生との交流	5 名
地域クラブでの 多世代の地域住民との交流	4 名
学校部活動にはない 新たな種目での活動	3 名
生徒のレベルに合った 活動の実施	3 名
専門的指導を受けられることで競技力が向上する	9 名
設備の整った環境で 活動できる	4 名
特にない	1 名



【Q 6. 地域展開による生徒のデメリット（複数回答）】

他校生とのトラブルなど生徒指導上の問題	11 名
地域クラブでの指導者によるハラスメント	2 名
部活動と地域クラブ活動との兼ね合いや連携	9 名
家庭状況により、参加できない生徒が出る	3 名
金銭面や送迎での保護者負担が増える	7 名
週休日に行われる公式大会等に参加できなくなる	3 名
地域クラブに参加しない生徒の居場所がなくなる	3 名
週休日の生徒の行動を把握しづらくなる	2 名
教員による教育力や影響力が低下していく	5 名
特にない	0 名

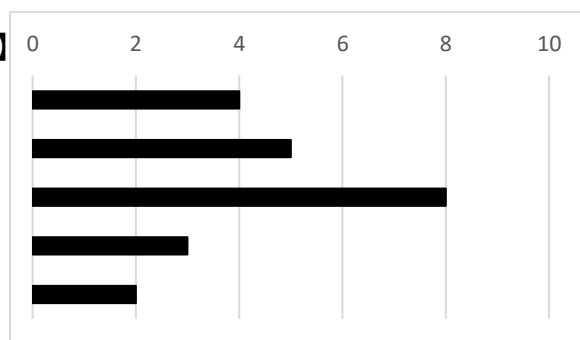


* その他として、「器物損壊や物品の紛失・盗難などがあった場合の責任の所在が不明確」

「経済格差がクラブ活動でも生じてしまう」「生徒の非行化」といった意見がありました。

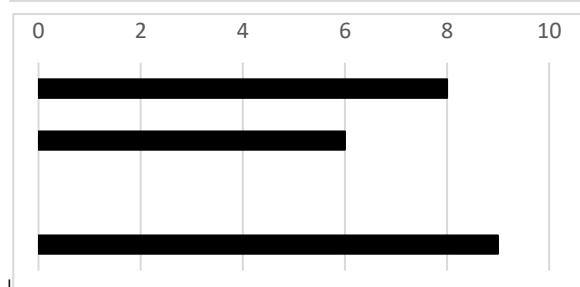
【Q 7. 部活動の地域展開で卓連に望むこと（複数回答）】

これまで通り年 10 回程度の連盟主催大会	4 名
春日部卓連所属チームの生徒受け入れ	5 名
春日部卓連から中学校への指導者の派遣	8 名
市内中学生を対象とした定期的な練習会	3 名
特にない	2 名



【Q 8. 卓連が主催する練習会の会場は（複数回答）】

それぞれの生徒が通う中学校の体育館	8 名
卓球を希望する生徒を集めた拠点校の体育館	6 名
廃校となった小中学校の体育館	0 名
市民体育館や市民センターなどの公共施設	9 名



* その他として、「エアコンなどの設備が整っている場所」

「駐車場・駐輪場が充分確保できる公共施設」との意見がありました。